

## 「小児救急電話相談事業(#8000)」についてのアンケート結果

滋賀県では、夜間や休日における子どもの急変時に保護者からの相談を受ける「小児救急電話相談事業(#8000)」を実施しています。

この事業の認知度や利用状況の把握を目的として、アンケートを実施しました。

★調査時期:令和5年2月

★対象者:県政モニター296人

★回答数:227人(回答率76.7%)

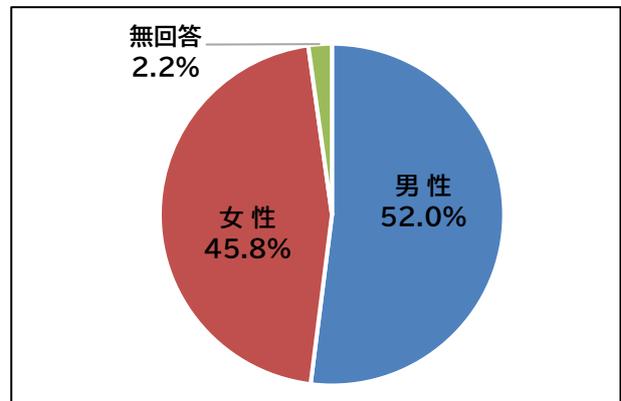
★担当課:健康医療福祉部 医療政策課

※四捨五入により割合の合計が、100%にならない場合があります。

### 【属性】

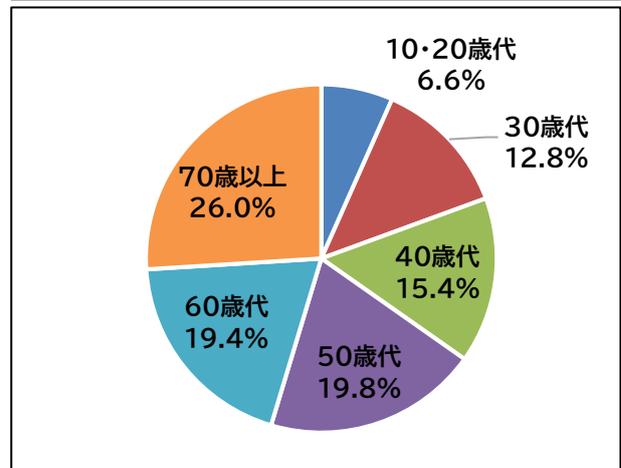
#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	118	52.0
女性	104	45.8
無回答	5	2.2
合計	227	100.0



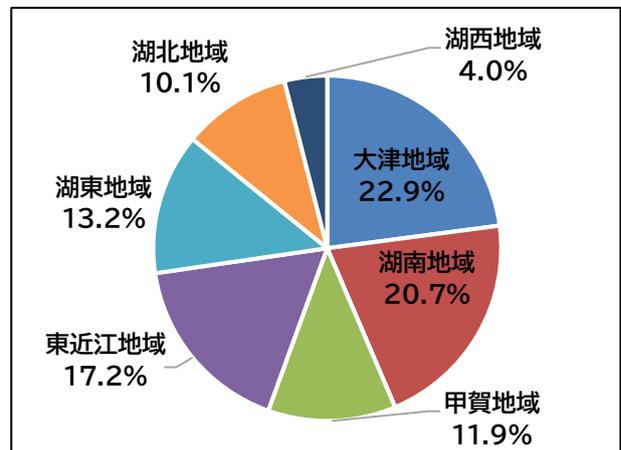
#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	15	6.6
30歳代	29	12.8
40歳代	35	15.4
50歳代	45	19.8
60歳代	44	19.4
70歳以上	59	26.0
合計	227	100.0



#### ◆地域

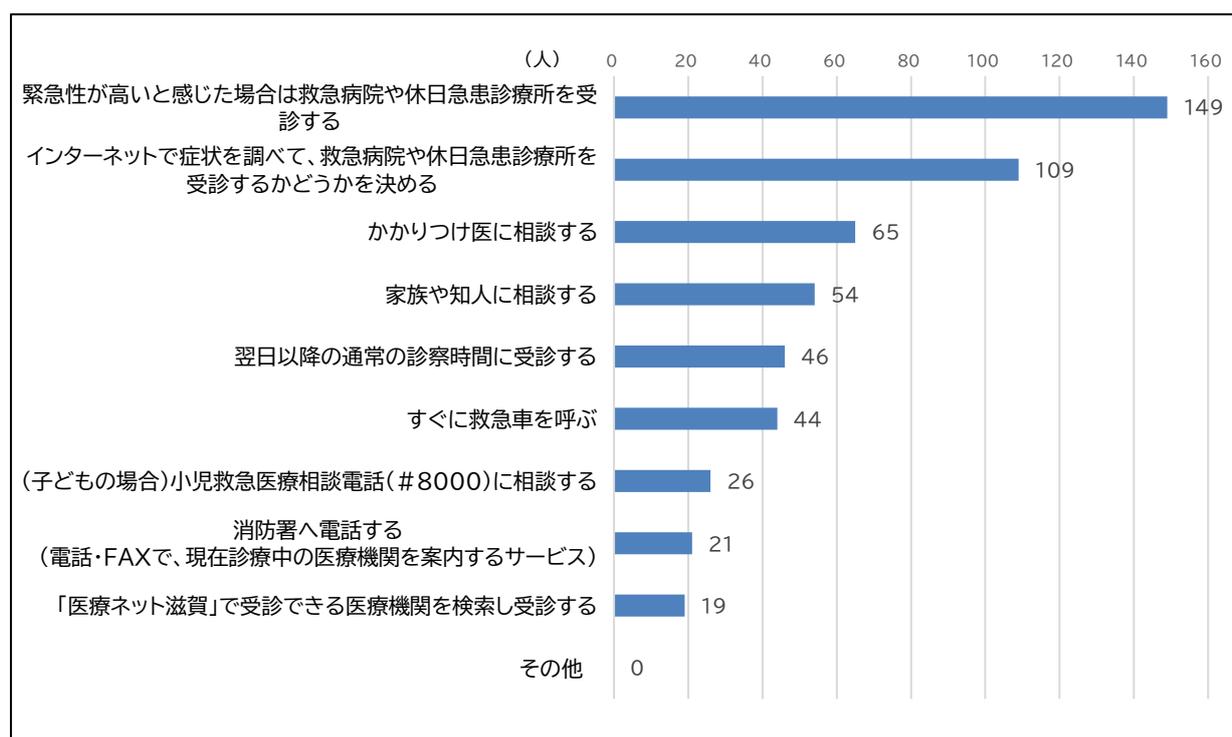
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	52	22.9
湖南地域	47	20.7
甲賀地域	27	11.9
東近江地域	39	17.2
湖東地域	30	13.2
湖北地域	23	10.1
湖西地域	9	4.0
合計	227	100.0



問1 あなたや家族が夜間や休日に急病やケガをしたとき、どのように対応していますか  
 (すると思いますか)。

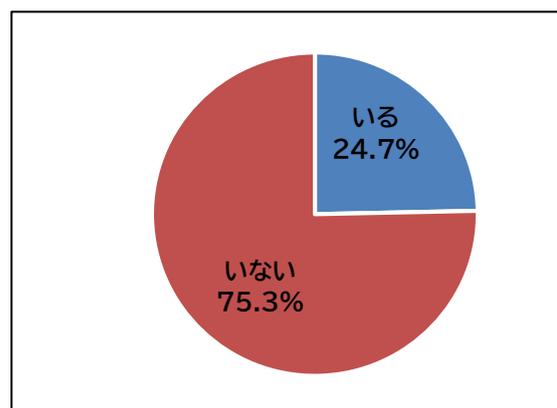
(回答チェックはいくつでも。 n=227)

項目	人数(人)	割合(%)
緊急性が高いと感じた場合は救急病院や休日急患診療所を受診する	149	65.6
インターネットで症状を調べて、救急病院や休日急患診療所を受診するかどうかを決める	109	48.0
かかりつけ医に相談する	65	28.6
家族や知人に相談する	54	23.8
翌日以降の通常の診察時間に受診する	46	20.3
すぐに救急車を呼ぶ	44	19.4
(子どもの場合)小児救急医療相談電話(#8000)に相談する	26	11.5
消防署へ電話する (電話・FAXで、現在診療中の医療機関を案内するサービス)	21	9.3
「医療ネット滋賀」で受診できる医療機関を検索し受診する	19	8.4
その他	0	0



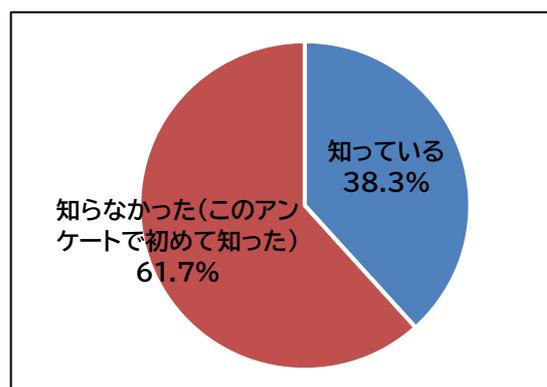
問2 現在、同居家族の中に中学生以下の方はいますか。  
 (回答チェックは1つだけ n=227)

項目	人数(人)	割合(%)
いる	56	24.7
いない	171	75.3
合計	227	100.0



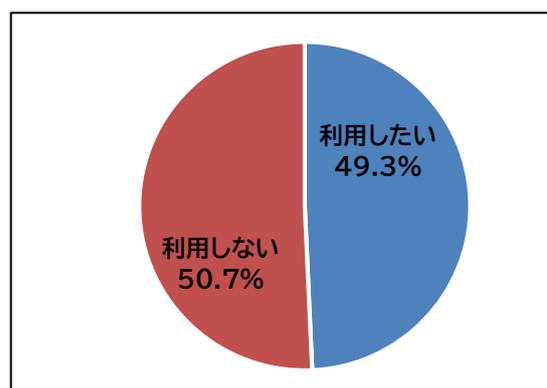
問3 子ども(中学生以下の方)が夜間や休日に、ケガをしたり、急に体調を崩したりして、すぐに医療機関を受診すべきかどうか迷った時に、電話で気軽に専門家(保健師、看護師、小児科医師等)に相談できる「小児救急電話相談(#8000)」があることを知っていますか。  
 (回答チェックは1つだけ n=227)

項目	人数(人)	割合(%)
知っている	87	38.3
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	140	61.7
合計	227	100.0



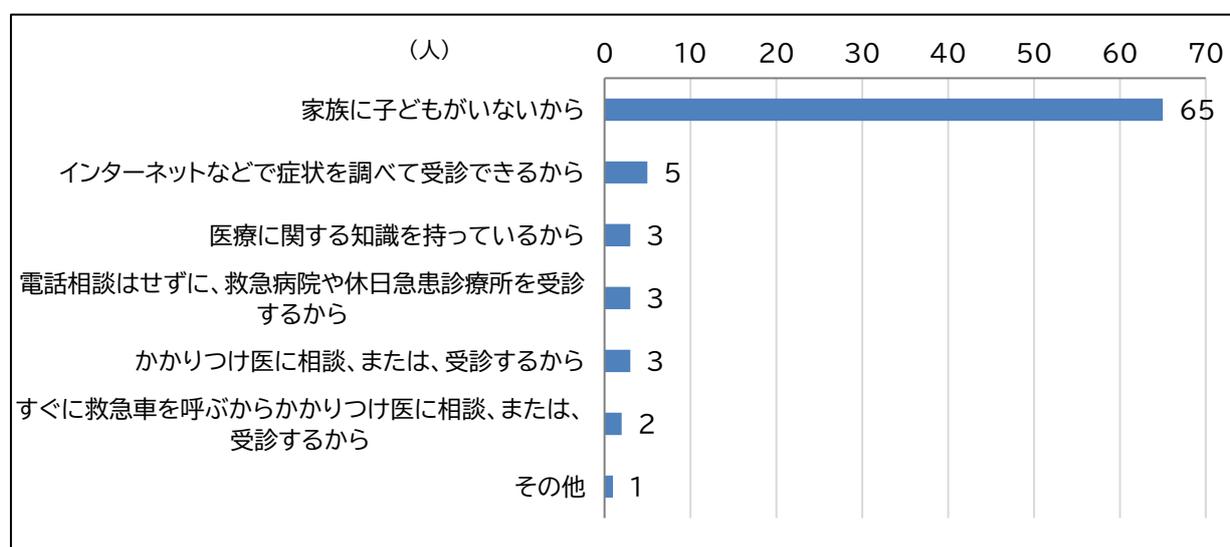
問4 問3で「2. 知らなかった」と回答された方にお尋ねします。  
 「小児救急電話相談(#8000)」は、休日・夜間の子どものケガや急病で、病院に行った方が良いか判断に迷ったときに、小児科医師や看護師等に電話で相談できるサービスです。  
 今回、「小児救急電話相談(#8000)」を知っていただき、今後利用したいと思われませんか。  
 (回答チェックは1つだけ n=140)

項目	人数(人)	割合(%)
利用したい	69	49.3
利用しない	71	50.7
合計	140	100.0



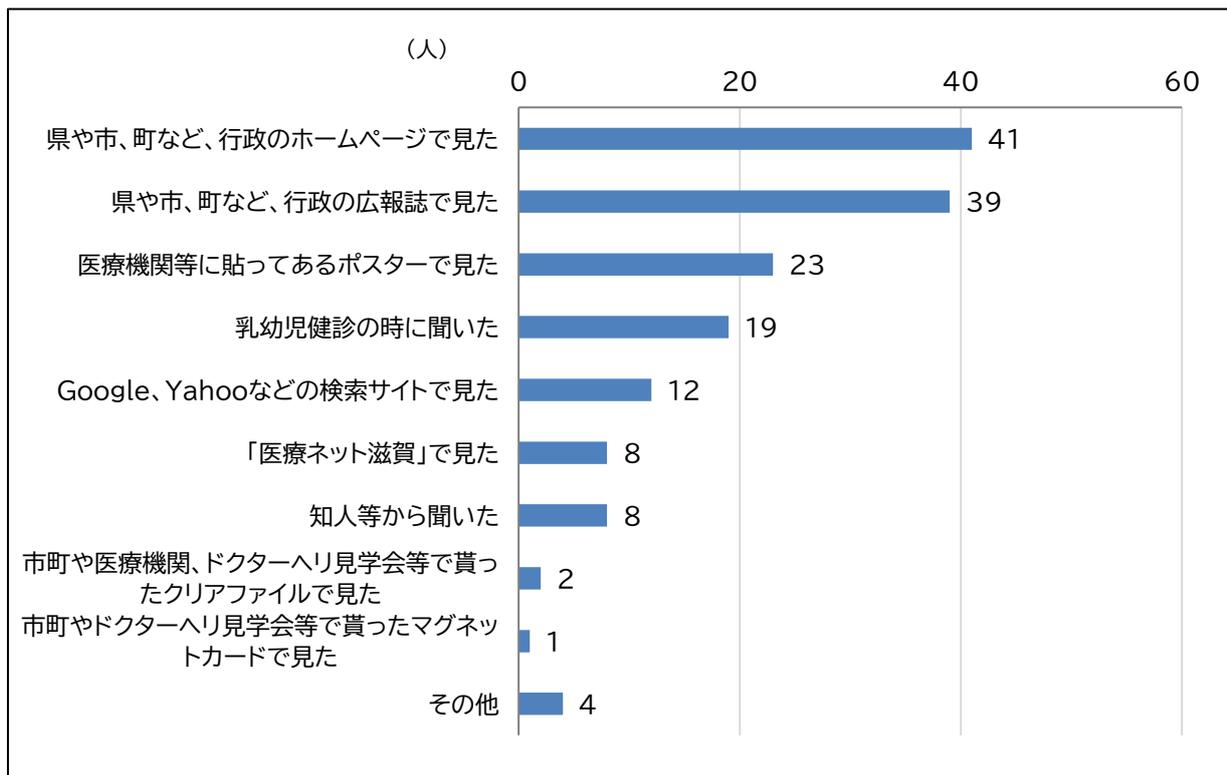
問5 問4で「2. 利用しない」と回答された方にお尋ねします。利用しないと思われる理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも)  
(回答チェックはいくつでも。n=71)

項目	人数(人)	割合(%)
家族に子どもがいないから	65	91.5
インターネットなどで症状を調べて受診できるから	5	7.0
医療に関する知識を持っているから	3	4.2
電話相談はせずに、救急病院や休日急患診療所を受診するから	3	4.2
かかりつけ医に相談、または、受診するから	3	4.2
すぐに救急車を呼ぶから	2	2.8
その他	1	1.4



問6 問3で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。「小児救急電話(#8000)」を何で知りましたか。  
(回答チェックはいくつでも n=87)

項目	人数(人)	割合(%)
県や市、町など、行政のホームページで見た	41	47.1
県や市、町など、行政の広報誌で見た	39	44.8
医療機関等に貼ってあるポスターで見た	23	26.4
乳幼児健診の時に聞いた	19	21.8
Google、Yahooなどの検索サイトで見た	12	13.8
「医療ネット滋賀」で見た	8	9.2
知人等から聞いた	8	9.2
市町や医療機関、ドクターヘリ見学会等で貰ったクリアファイルで見た	2	2.3
市町やドクターヘリ見学会等で貰ったマグネットカードで見た	1	1.1
その他	4	4.6

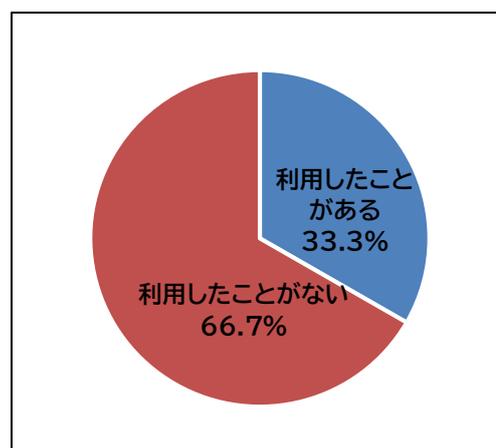


問7 問3で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。

子どもが、夜間や休日にケガをしたり、急に体調を崩したりした際、「小児救急電話相談(#8000)」を利用したことがありますか。

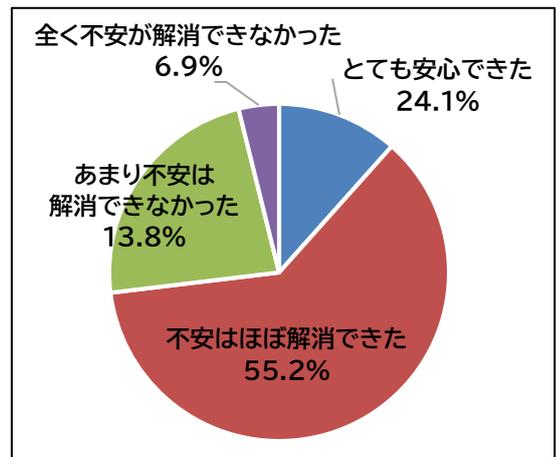
(回答チェックは1つだけ n=87)

項目	人数(人)	割合(%)
利用したことがある	29	33.3
利用したことがない	58	66.7
合計	87	100.0



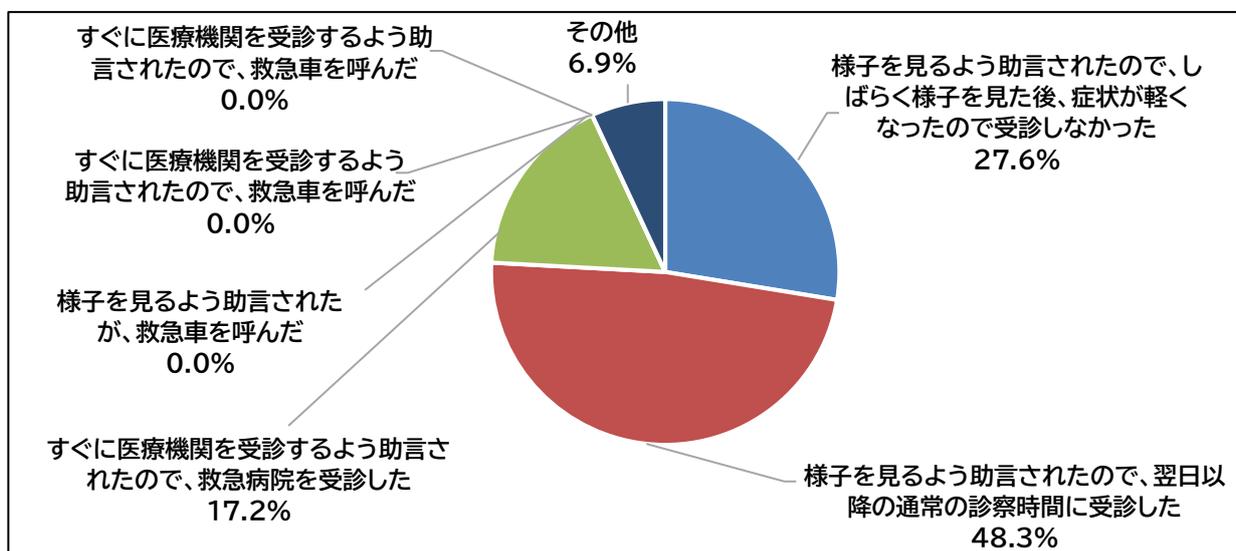
問8 問7で「1. 利用したことがある」と回答された方にお尋ねします。  
「小児救急電話相談(#8000)」を利用して不安は解消しましたか。  
(回答チェックは1つだけ n=29)

項目	人数(人)	割合(%)
とても安心できた	7	24.1
不安はほぼ解消できた	16	55.2
あまり不安は解消できなかった	4	13.8
全く不安が解消できなかった	2	6.9
合計	29	100.0



問9 問7で「1. 利用したことがある」と回答された方にお尋ねします。  
「小児救急電話相談(#8000)」に相談した後、どうされましたか。複数回利用された方は最後の利用の状況をお答えください。  
(回答チェックは1つだけ n=29)

項目	人数(人)	割合(%)
様子を見るよう助言されたので、しばらく様子を見た後、症状が軽くなったので受診しなかった	8	27.6
様子を見るよう助言されたので、翌日以降の通常の診察時間に受診した	14	48.3
すぐに医療機関を受診するよう助言されたので、救急病院を受診した	5	17.2
すぐに医療機関を受診するよう助言されたので、救急車を呼んだ	0	0
様子を見るよう助言されたが、救急病院を受診した	0	0
様子を見るよう助言されたが、救急車を呼んだ	0	0
その他	2	6.9
合計	29	100.0

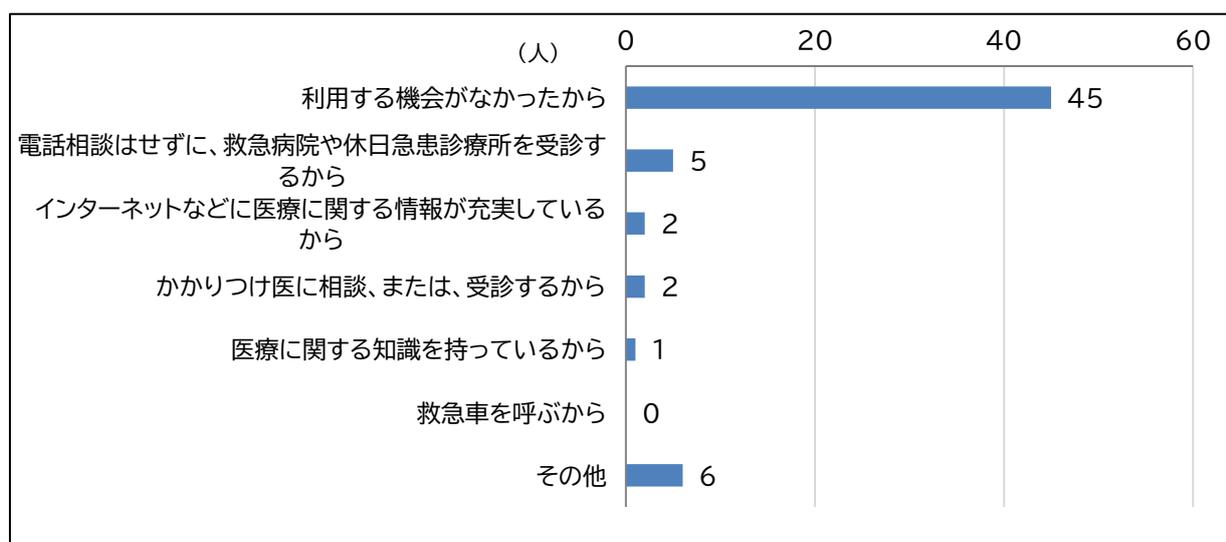


問10 問9で「5. 様子を見るよう助言されたが、救急病院を受診した」または「6. 様子を見るよう助言されたが、救急車を呼んだ」と回答された方にお尋ねします。あなたが、救急病院等を受診した理由を教えてください。  
(回答チェックはいくつでも n=0)

項目	人数(人)	割合(%)
相談した後に、子どもの症状が悪化したから	0	0
相談員は子どもの容態を実際にみていないから	0	0
とにかく子どもが心配だったから	0	0
相談員の対応が悪かったから	0	0
その他	0	0

問11 問7で「2. 利用したことがない」と回答された方にお尋ねします。  
「小児救急電話相談(#8000)」を利用されなかった理由を教えてください。(回答チェックはいくつでも n=58)

項目	人数(人)	割合(%)
利用する機会がなかったから	45	77.6
電話相談はせずに、救急病院や休日急患診療所を受診するから	5	8.6
インターネットなどに医療に関する情報が充実しているから	2	3.4
かかりつけ医に相談、または、受診するから	2	3.4
医療に関する知識を持っているから	1	1.7
救急車を呼ぶから	0	0.0
その他	6	10.3



問12 あなたが、小児医療電話相談や小児医療について、御意見や日頃感じていることを自由に記載してください(抜粋)

< #8000の利用 >

◆とても良い取り組みだと思います。大人の場合でも、本当に救急車が必要なのか迷う場合があります。これが自分自身のことならば、救急車を呼ぶべきか、診療時間まで待つかの判断はできると思いますが、家族のことだと判断がつかない。

子どもは特に判断が難しいので、活用がなされるように、もっと周知をお願いいたします。

◆夜間や休日に相談できるのはとても心強いです。お話もしっかり聞いてくださり、家でできる対処法や悪化した時の今開いている救急先を教えてもらえるので助かります。

◆#8000 はありがたいです。特に言葉が話せない乳児や幼児期は大人が察してあげるしかないので 夜中でも相談できる所があるのは助かる。特に 1 人で子育てしている親や初めての育児は不安になるので気軽に相談できる場所や小児科は心強いです

◆何度かかけたことがある。一度だけ繋がって、丁寧に対応してもらえた。しかし#8000 の対応時間にもかかわらず繋がらないことの方が多く、必要な時に繋がらないなら必要ないと感じた。

◆小児救急電話相談でも、LINE や Zoom などの対応をしてくれるならやりたいと思う。

◆子どもが頭に怪我をして不安な中、救いを求めた電話が繋がらないのは不安でなりません。対応してもらえる人数を増やしてもらえると良いと思いました。高島市にも夜間休日子どもの救急を見てもらえる体制を整えてほしいです。

< 広報について >

◆相談出来る機関が有る事を知らない人も多いと思いますから PR をもっとする必要が有ると感じます。

◆救急車の不適切な使用が多いと聞いています。#8000や相談できる電話番号を周知して、救急車の対応に支障が出ない様にして欲しいです。

◆子供の急な発熱や他の急変について、相談できる窓口があることは大変安心なことだと思います。その告知や周知が今以上に進むことを希望します

< その他 >

◆安易に救急車を呼んだりせずに、冷静に対応することが医療機関に対する配慮だと思う。

◆#8000 は利用したことは無いのですが、多分急な時に症状を的確に伝えられるか？慌ててしまうことを思うと 救急病院に連れて行く方を取ってしまうと思う

◆子供が小さな頃は、よく休日急患診療所を利用して、大変助かりましたので、今後とも継続して開設していただきたい。多少費用がかさむことはやむを得ない。

◆私自身が子育てをしていた時期からは久しいが、娘が子育てをするのを見ていると、相談できる施設も増え、ネットでの情報も得やすくなっていると感じる。

ただ情報が多すぎて、その信憑性を疑うようなこともあるので信頼できる相談先を持つべきだと思った。